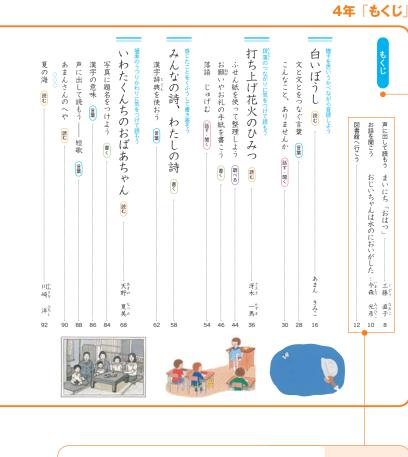
- )年間を通じて一冊の教科書で学習することにより、 学年・学期・教材など、あらゆる段階における学習の見通しと振り返りを可能にしました。

四国

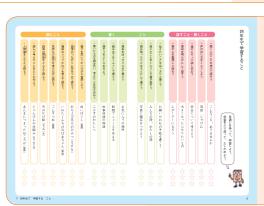
- |学習指導要領に示された指導事項・言語活動例は、『小学生の国語』で全て対応しています。 そのため、授業時数は、『小学生の国語』のみで配当しています。
- )およそひと月に一本ずつ中心教材を配置し、子どもたちの日常生活や学校生活に即した教材配列を重視しました。
- 一教材一領域にねらいを焦点化し、子どもたちが明確な目標をもって学習に取り組めるようにしました。



### はじまり

学習が始まります。 読書生活を広げることから国語 各学年とも、声を出すことと、





年間の見通し

できます。 通しをもって学習を進めることが 域ごとに示しました。一年間の見 目次のあとに、教材のねらいを領



の教材を定期的に配置しました。 学年配当漢字と前学年配当漢字

漢字学習

をもった漢字学習ができます。 年間を通して、偏りなく見通し

## 学年のまとめ

年間の学習をしめくくります。 「書くこと」で自分を振り返り、

書いたものを読み合い、考えたことを伝え合おう つと二十才になり、大人の仲間入りをします。みなさんは、生まれてから十年。あと十年た 二十才のわたしへ

装むこと							*	書くこと		話すこと・聞くこと		
あたまにつまったロミッが	・誰んで考えだことをだいかめよう	・設体の関係をとらえて終るう 用のかげ絵	・対策もの数とを考える折り置る?	・場面のうつりかわりに気をつけて誇らう	・設備のつながりに気をつけて関もう 打ち上げ形火のひんつ	・様子を思いうかべながる意識しよう 合いほうし	・穏か定とをくぶうして寄じう 新聞でエルースを仕える	- 横にたことをくふうしを表示をう	* 裏がらる毎度して試をう レポーテーになろう	主義がはそって誰しかおう	- 関く人のことを考えて終そう	
人物像は、その人物の行動や会談、気持ち、他の人物との関係などから読みが、たらとができる。人物像をとらえると、人物のことがよくわかり、作品の読みなるとから読み取ります。	もことによって、よりは、きりとわかることがある。 あまの仕組みについて説明した文章を建むときには、本当にもうだろうか、な事事の仕組みについて説明した文章を建むときには、本当にもうだろうか、なりまりた。	設施のはじめにあるセッぞく語やこそあど言葉に思るつけると、設施と設施ののながり方がよくわかる。前の設施の何ようをまとめる。くわしく説明する。何をしめず、つけ如えるなどのつながり方がある。	人物の行動や会談などから場面ことに気持ちを読み取り、どのような出来事がきっかけて、どのように気勢なが変わったかを考えよう。	場面のうつりかわりに言葉のけて誰だと、物語のあらすじや、人物の言語にの (んかなどがよくわかる、場所や時間、人物の(んかなどに気をつけて、場面の うつりかわりをだしかめよう	文章のまとまりごとに大事な言葉や大を見つけ、それらまうないだり、著さかえたりして、文章を受的しょう。	人物の行動や会議、色やにおい、食、さかった様とが、関いている人につ、場面の様子を思いうかべよう。文章から思いうかべた様子が、関いている人につためるように、声の妻子が見の取り方をくぶうして直続しよう。	出来等を指令と成立の基金では、「2の、1931と、1925年で、1929、1927と、 に、あることには、1928年の世界を依めたけに対対はできったものものは、 分離のは、2世のに表現しょう。	のが動いた団英書がくわして供わるように、音や様子を表す言葉を使って、くらうして書いう。実に出して使んだとさのリズムに気をつけよう。	芝居したことがわかりやすくはわらんでしょう。 越す 内ように関わる 間がときしめした フ・越す 内ように関わる 間がときしめした フレイス	参加する人は、他の人の考えをよく関いて他等し、仓譲の追行にきょう力しよう。 か加する人は、他の人の考えをよく関いて他等し、仓譲の追行にきょう力しよう	旅がつたわっているかどうか、聞いている人の様子を見込がら話そう。聞いている人に考えてはしいところでは、間を取るう。	他の問題や世界の中で、他のしていこう

新しい漢字を学ぼう

――の漢字に気をつけて、次の文を読み

③ 第 辿回の繋からをつかむ。
 ② 単本のおが上を方った。
 ③ 単本の始昇が上が上がたった。
 ⑤ 製工には到該などを読みがある。
 ⑤ 製工には到該などを読みがある。
 ⑤ 製工には到該などを読みがある。

験を教訓に、チームをさい埋しよう。 今年の大会は五世に終わった。このけい

--の漢字に気をつけて、次の文を読る

# 年間を通した振り返り

することができます。 たことを振り返ったり、確かめたり をまとめました。一年間で学習し ょう」で示した国語の知識や技能 巻末に、各教材の「覚えておきまし

4 次の文章を読みましょうかいしていた。そくの点のちがいをしょうかいしていた。そくの点のちがいをしょうかいしていた。それぞれの物色がよくわかった。

□ よっ別の世話をする。
② からはな夢を指べつにかした。
③ 今日はな夢を指べつにかした。
③ 今日はな夢を指べつにかした。
⑤ 角んのに赤のえだに調音をかた。
⑤ のんかいためえだに調音をかた。
⑥ シュートの調べの開発を決めた。